

北海道産主要セリ科検索図譜（その2・中小型種）

渡辺 修

さっぽろ自然調査館 〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目4-35-705

はじめに

前報（渡辺，2000）にひきつづきセリ科植物の検索図譜を紹介する。今回は主に前回扱わなかった中小型のセリ科27種を収録した。これらの種は壮観や葉の形態が似ているものが多く、イラストで比較することは識別の大きな助けになるものと考えている。セリ科の特徴や本図譜の特徴については前報に述べたので、参照してほしい。今回の報告も、葉による検索と果実による検索の2種類を用意し、どちらからでも種の同定が行なえるようにした。

検索の方法

1. 「その1」と「その2」の区分

本図譜では道内産主要セリ科32種2変種を「その1」「その2」の二つのグループに分けて検索を作成した。「その1」では、1.5m以上の高さになる大型種10種を対象とし、「その2」では残りの小中型種22種2変種に重複する種を含めた27種2変種を対象とした。

その1：高さが1.5m～3mの種。

その2：高さが1.5m未満の種。

2. 特性一覧表

表1に対象種を一覧で示し、その分布や生育地、果実の一般的な大きさを観察と図鑑などの記述をもとにまとめた。識別の基準となる特徴についても比較可能なようにまとめたので、検索図の補助に用いて欲しい。また学名や各種図鑑等での掲載番号は、前報の表1を参照してほしい。

3. 葉の検索

その2では2つの検索図を用いる（図1）。上から順に線をたどると似た葉のグループごとにボ

ックスになっているので、その中から該当する種を特定する。それぞれの種の葉のイラストは原寸ではないが、葉一枚の全体像のシルエットと一つの小葉の形状を線画で示したので、絵合わせに用いることができる。基本的な手がかりは、小葉の裂け方・毛の有無・色合い・茎の形である。またイラストの下に主要な生育環境を略号で記したので、それも参照されたい。

4. 果実の検索

葉の検索と同様に、2つの図版からなっている（図3）。上から順に線をたどって、それぞれの種のイラストを比較して種を特定する。イラストは、果実の構造を三面図（前報参照）で示したもので、左上に分果が並んだ状態、右上に分果を背面から見た状態、左下に分果を上（柄と反対側）から見た状態を示してある。基本的な手がかりは、果実の全体的な形、表面にあるでっぱり部分（隆条）の出具合、毛や刺の有無、（小）総苞片の有無などである。参照のために、果実の大きさと総苞片・小総苞片の有無をイラストの右下に示してある。それでも判断できない場合があるが、その時には葉の検索を併用してほしい。

5. 生育環境別の一覧

図2には、その1の種も含めた32種を主要生育環境別に示した。さまざまな環境に出現する種は、重複して記載してある。同定しようとしている種の生育環境が分かっているときの早引き検索として利用してほしい。例えば、砂浜のセリ科植物であれば、図の5種の中に該当種があり、さらにそれが三つ葉状の葉をしていれば、マルバトウキであると、この図のみで特定できる。

6. 間違いやすい種について

葉に細かい切れ込みが入ってセリ葉状になる種14種は基本的に見間違えやすい種であるといえる。特にエゾボウフウ・イブキゼリモドキ・カワラボウフウは、登山道沿いなどで同所的に見られて区別が難しいと思われる。ミヤマセンキュウとカラフトニンジン、セントウソウとシラネニンジンも生育環境は異なるが、よく似ている種である。また有毒のドクゼリをセリと、ドクニンジンをシヤクと誤認して食べて中毒を起こす事故があることが知られている。

また、葉に変異が多く、特に根出葉と上部の莖葉、下部の莖葉で形態が大きく異なるような種では、形態の比較を慎重に行なう必要がある。図版にも変化を示したが、ウマノミツバ・ハクサンボウフウ・カノツメソウ・エゾボウフウ・イブキゼリモドキなどは、さまざまな部位の葉を見て検討してほしい。

おわりに

今回収録できなかった種として、ムカゴニンジン・タニミツバ・ミヤマウイキョウ・エゾヤマゼンゴの4種がある。いずれも生育地が限られる種で見るとは少ないと思うが、筆者も未見で未スケッチのために収録できず、残念である。今後はこれらも含めた上で、より分かり易い検索づくりを目指したいと思う。

本稿で用いた図版は全て筆者の野外スケッチ・採集標本スケッチに基づいている。誤りの指摘や改善の提案をいただければ幸いである。前報で述べた方々にお世話になったほか、特にその2では、高山種の果実を下野嘉子さん（北海道大学地球環境科学研究科）に、ハマゼリの標本を道川富美子さんに提供していただいた。また、宮原由実さんにスケッチのコンピュータによる清書書きを手伝っていただいた。以上の方に感謝したい。

引用文献

渡辺修. 1999: 北海道産主要セリ科検索図譜 (その1・大型種). 知床博物館研究報告, 20: 15-32.

表1. 中小型セリ科 (その2対象種) の一覧表

| 図譜 番号 | 種名 | 属名 | 生育地 | 分布 | 葉の特徴 | | 花の 時期 | 実の特徴 | | | | | | 小総 苞片 | 総 苞片 |
|----------|----------|----------|------|------|------|---|----------|------|---|----|-----|----|----|----------|---------|
| | | | | | 光沢 | 毛 | | サイズ | 形 | 圧迫 | 毛・刺 | 隆条 | 油管 | | |
| 1 | トウマゼリ | ヌマゼリ | ・・・湿 | 北一本 | ○ | - | 7-8 | 3 | 卵 | 側 | - | 肋 | ○ | ○ | ◎ |
| 2 | ウマノミツバ | ウマノミツバ | ・林・ | 北一琉 | ○ | - | 7-8 | 5 | 卵 | 背 | 刺 | 肋 | ○ | - | - |
| 3 | ミツバ | ミツバ | ・林・ | 北一丸 | - | - | 7 | 4 | 長 | 側 | - | - | ○ | - | - |
| 4 | カノツメソウ | カノツメソウ | ・林・ | 北一丸 | ○ | - | 8-9 | 4 | 長 | 側 | - | 脈 | ○ | ○ | ○ |
| 5 | マルバトウキ | マルバトウキ | ・・海・ | 北一本n | ○ | - | 7-8 | 10 | 卵 | 背 | △ | 脈 | ○ | ○ | ○ |
| 6 | ハマボウフウ | ハマボウフウ | ・・海・ | 北一琉 | - | ◎ | 6-7 | 7 | 卵 | 側 | 毛 | 肋 | ○ | ○ | - |
| 7 | カワラボウフウ | カワラボウフウ | 岩場 | 北一丸 | - | - | 8 | 6 | 卵 | 背 | - | 脈 | ○ | ○ | △ |
| 8 | ハクサンボウフウ | // | 高山 | 北一本n | - | - | 8 | 9 | 卵 | 背 | - | 脈 | ○ | - | - |
| 9 | イブキボウフウ | イブキボウフウ | 草・海・ | 北一近 | ○ | ○ | 7-8 | 3 | 卵 | 側 | 毛 | 肋 | ○ | ○ | △ |
| 10 | エソボウフウ | エソボウフウ | ・林・ | 北一本n | ○ | - | 6 | 3 | 卵 | 側 | - | 脈 | - | ○ | - |
| 11 | イワミツバ | // | 荒地 | 帰化 | - | - | 6 | 3 | 卵 | 側 | - | 脈 | - | - | - |
| 12 | セントウソウ | セントウソウ | ・林・ | 北一丸 | ○ | - | 4-5 | 3 | 卵 | 側 | - | 脈 | - | - | - |
| 13 | ハマゼリ | ハマゼリ | ・・海・ | 北一丸 | ◎ | - | 8-10 | 2.5 | 卵 | 側 | - | 肋 | ○ | ○ | ○ |
| 14 | セリ | セリ | ・・・湿 | 北一琉 | - | - | 7-9 | 3 | 卵 | 背 | - | 丸 | ○ | ○ | ○ |
| 15 | ヤブシラミ | ヤブシラミ | 草林・ | 北一琉 | - | ○ | 6-8 | 3 | 卵 | 側 | 刺 | 脈 | ○ | ○ | ○ |
| 16 | ヤブニンジン | ヤブニンジン | ・林・ | 北一丸 | - | ○ | 5-6 | 8 | 長 | 側 | 刺 | 肋 | ○ | △ | △ |
| 17 | シラネニンジン | シラネニンジン | 高山 | 北一本n | ◎ | - | 7-8 | 4 | 卵 | 背 | - | 肋 | ○ | ○ | ○ |
| 18 | イブキゼリモドキ | // | ・林・ | 北一本n | - | - | 7-8 | 3 | 卵 | 側 | - | 丸 | ○ | ○ | ○ |
| 19 | ドクニンジン | ドクニンジン | 草・ | 帰化 | - | - | 7 | 4 | 卵 | 側 | - | 脈 | ○ | ○ | ○ |
| 20 | ノラニンジン | ニンジン | 草・ | 帰化 | - | ○ | 8-10 | 3 | 卵 | 側 | 刺 | 肋 | ○ | ◎ | ◎ |
| 21 | ミヤマセンキュウ | ミヤマセンキュウ | ・林・ | 北一本n | - | - | 8 | 4 | 卵 | 背 | - | 肋 | ○ | ○ | ○ |
| 22 | カラフトニンジン | // | ・海・ | 北一本n | - | - | 8 | 4 | 卵 | 背 | - | 肋 | ○ | ○ | ○ |
| 23 | シャク | シャク | 草林・ | 北一丸 | - | ○ | 5-6 | 7 | 長 | 側 | - | - | - | ○ | - |
| 24 | ドクゼリ | ドクゼリ | ・・・湿 | 北一丸 | - | - | 7-8 | 2.5 | 卵 | 側 | △ | 丸 | ○ | ○ | △ |
| 25 | ミヤマトウキ | シシウド | 草・ | 北一本n | ◎ | - | 7-8 | 5 | 卵 | 背 | - | 脈 | ○ | ○ | △ |
| 27 | オオバセンキュウ | // | 草林・ | 北一本n | - | - | 8-9 | 6 | 卵 | 背 | △ | 肋 | ○ | ○ | - |
| 29 | アマニュウ | // | 草林・ | 北一本n | ○ | - | 7-8 | 6 | 卵 | 背 | - | 肋 | ○ | - | - |

※<生息地>は「山地草原/林内・林縁/海岸草原/湿地」の順に一字で示した。これらに該当しない種は「岩場」「高山」「荒地」で示した。

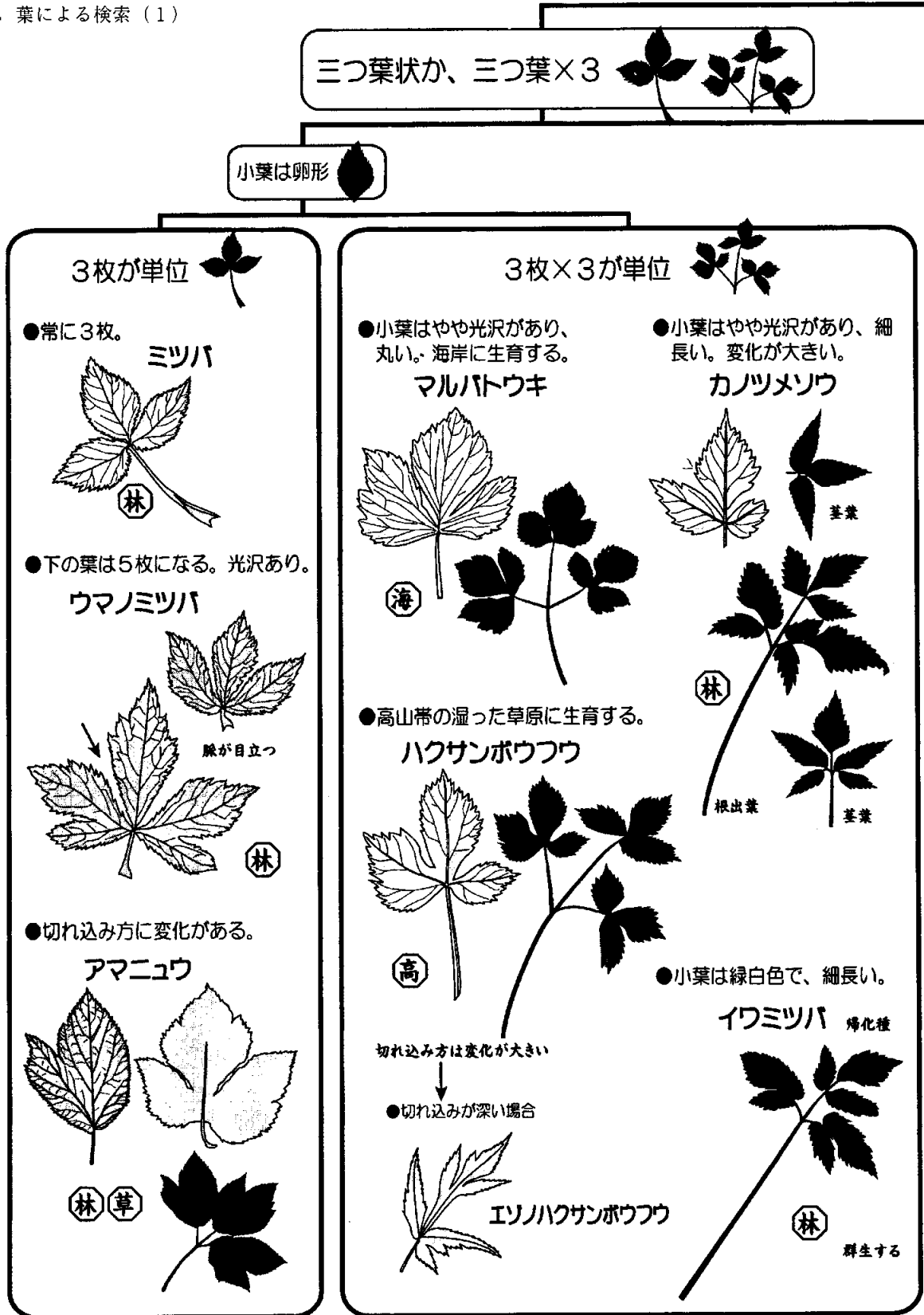
※<分布>は「北(北海道)」「本(本州)」「本n(本州北部)」「近(近畿)」「丸(九州)」「琉(琉球諸島)」で示した。

※<花の時期>は北海道における一般的な開花時期を月で示した。

※<実の特徴>は、<サイズ>は長径(mm)で、<圧迫>は果実の圧迫されている向きを「横」「背」で、<隆条>は張り出し具合を「肋」「脈」「線」「-(なし)」「丸」で、<油管>は有無を「○(あり)」「-(なし)」で示した。

※<小総苞片><総苞片>は、「○(あり、◎裂ける)」「△(1本あるかない)」「-(なし)」で示した。

図1. 葉による検索(1)



小葉は変わった形



- 不規則な切れ込みで、白毛が密生する。

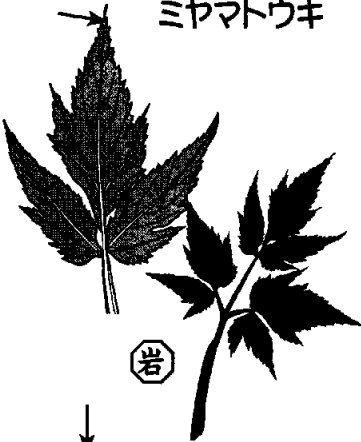
ハマボウフウ



海

- 先がとがる。濃い色で光沢がある。

ミヤマトウキ



岩

- 小葉が非常に細くなる変化



ホシバトウキ

紫色がかる

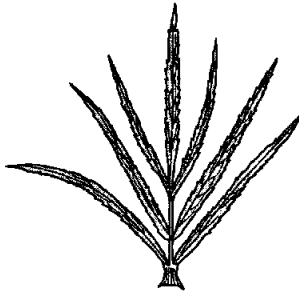
(夕張など
蛇紋岩地帯の変種)

羽状で
小葉は細長い



- 1回羽状複葉で小葉は細い
(トウ)ヌマゼリ

湿



茎が角張り翼がある

- 2-3回羽状複葉で、粉白色となる。

ドクゼリ



湿 群生する

- 2-3回羽状複葉で、小葉が逆向きにつく。

オオバセンキュウ



林草湿

羽状で小葉は
丸く細かい



ハマゼリ



厚みと強い
光沢がある



海

細かい切れ
込みが入り、
セリ葉となる。



◆次ページの
図へつづく

図1. 葉による検索(2)

細かい切れ込みが入り、セリ葉となる。



葉は地面に広がり
高さ20cm前後



●低地の森林に生育する。

セントウソウ (林)



やわらかいが
光沢がある

●高山帯に生育する。光沢がある。

シラネニンジン (高)



小葉の切れ込みは
変化が大きい

●切れ込みが浅い場合

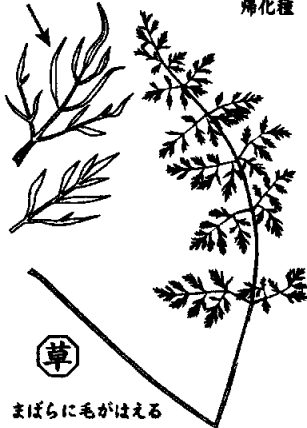
ヒロハシラネニンジン

(礼文島産の品種)

小葉が非常に細い

ノラニンジン

帰化種



まばらに毛がはえる

葉や茎に毛がはえる

●葉の先端が細くなる。
よく枝分かれする。

ヤブジラミ



短毛でざらつく

(林)

●葉は黄緑色で、
五角形状に広がる。

ヤブニンジン



柔らかい毛が生える

(林)

小葉はひし形

セリ



茎は角張る

(湿)

小葉は柄に翼状に
つながる

カワラボウフウ

色は薄い
厚みがある



(岩)

●小葉の先は丸く、柄に柄がない

イフキボウフウ



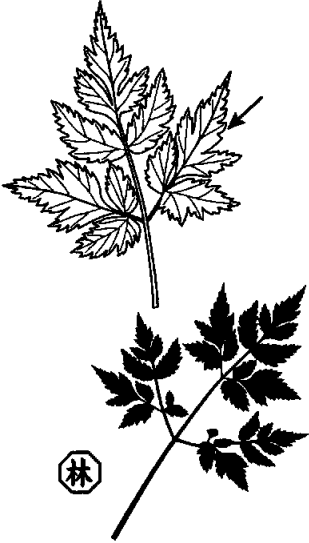
茎は角張る

(海)

小葉の数は少ない

- 小葉は卵形で、鋸歯が粗い。

エソボウフウ



- 小葉は細く切れ込む。亜高山帯に多い。

イブキゼリモドキ



葉は大型で、小葉の数も多い

- 小葉は緑白色で、先端がやや細くなる

ミヤマセンキュウ



- 小葉は黄緑色で、茎はよく分枝する。

シヤク



- 小葉は厚みと光沢がある。葉は横に広がる。

カラフトニンジン



- 小葉は緑白色で、細かく切れ込む。柄・茎にはあずき色の斑点がある。

ドクニンジン



図2. 生育環境別の出現種一覧



※●は大型種編にのみ掲載した種
 ※数字は図譜番号（その1の表1参照）

実のタイプ

- 細長い
- 刺がある
- 卵形で側面から圧迫
- 卵形で背面から圧迫

葉のタイプ

- 三つ葉状の葉
- 羽状複葉
- 細かい切れ込みの葉
- その他の変形の葉

図3. 実による検索(1)

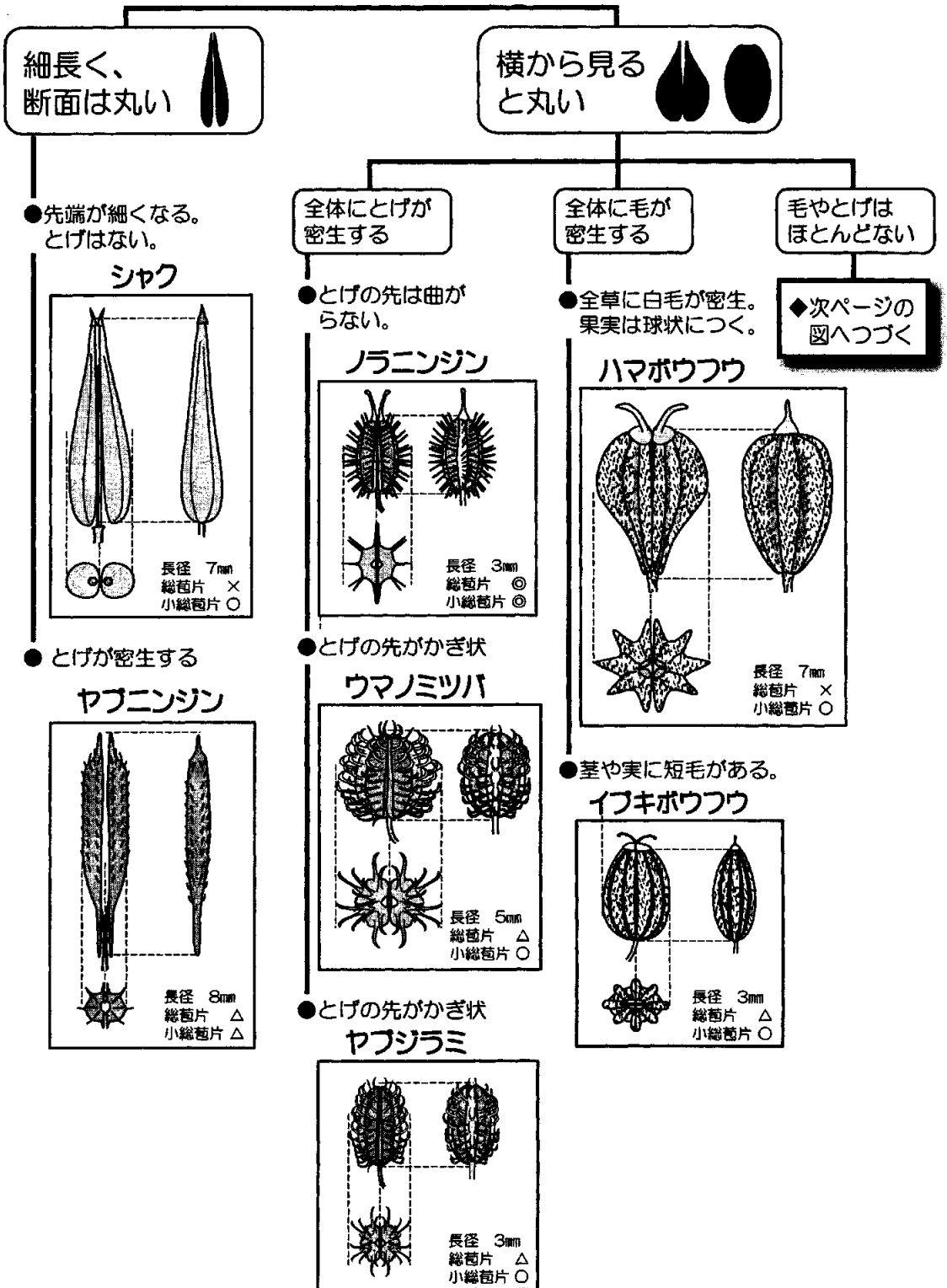
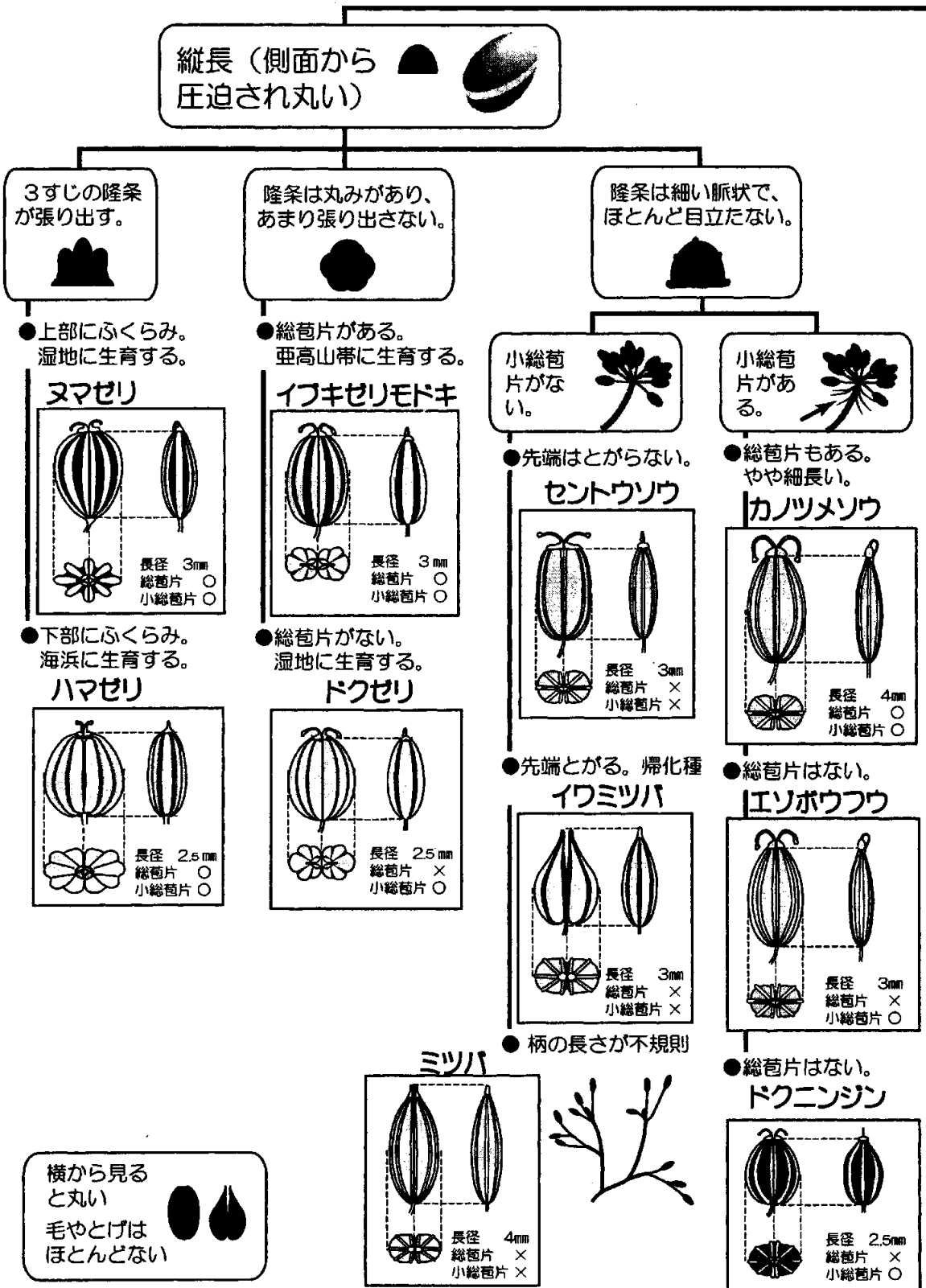


図3. 実による検索 (2)



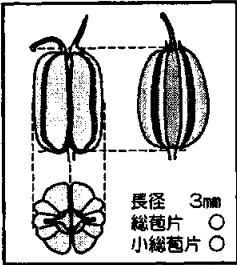
横長（背部から
圧迫され平たい）



翼がなく
丸みがある。

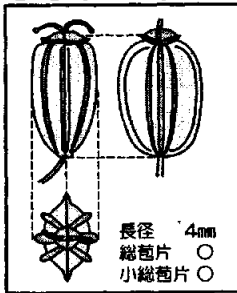


●隆条に丸みがある。
セリ

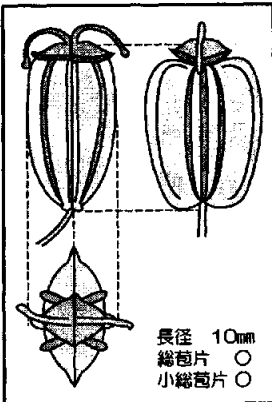


●隆条は細い。

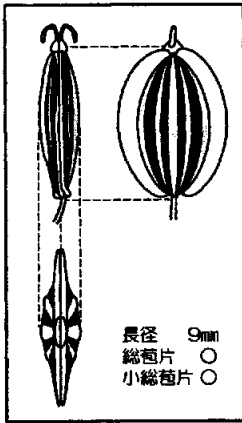
シラネニンジン



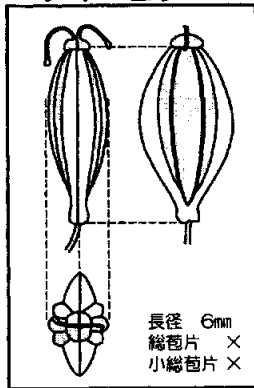
●大型で目立つ
マルバトウキ



●大型で目立つ
ハクサンボウフウ



アマニュウ

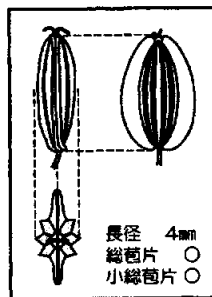


翼がある。

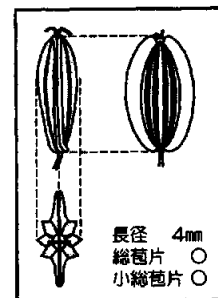


総苞片がある。

ミヤマセンキュウ

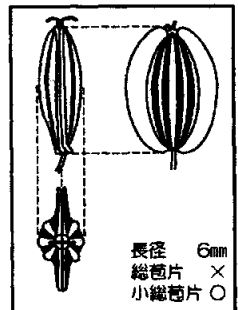


カラフトニンジン

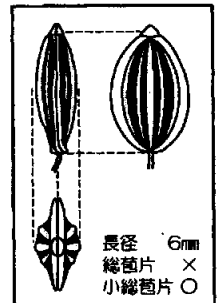


総苞片がない。

オオバセンキュウ



カワラボウフウ



ミヤマトウキ

